

# 先端研究基盤共用促進事業 先端研究設備プラットフォームプログラム

## 「顕微イメージングソリューションプラットフォーム」

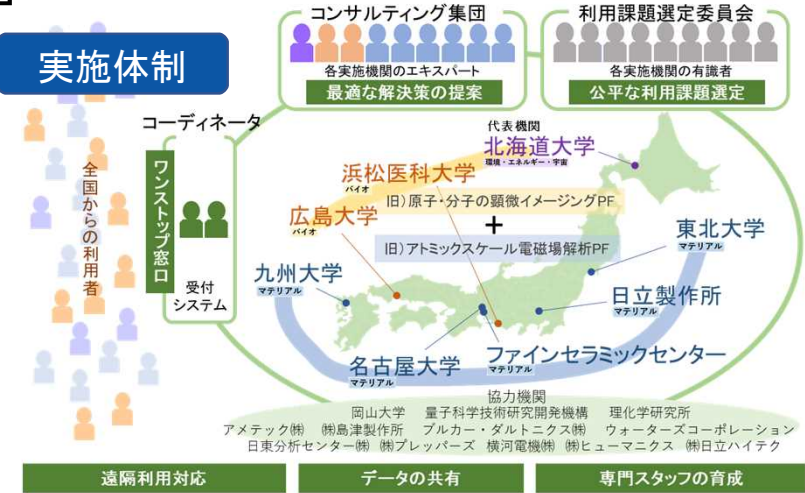
### ① 5年後の達成目標、達成されたときの姿

参画機関が所有する世界唯一で最先端の高分解能・高感度イメージング装置の共用により、基礎物理からマテリアル、バイオ、環境、エネルギー、宇宙までの幅広い分野における物質の構造からその機能(元素・同位体・電磁場などの分布)まで多面的な顕微イメージングソリューションを提供する。

各先端分析技術の融合による新たなイノベーション創出を推進する人材を育成する。

バーチャルな研究機関として継続的な活動を続けられる組織を構築する。

### 実施体制



### ② これまでの取組と解決すべき課題

これまでの取組

#### ・ワンストップサービス構築

利便性を向上、新たな分野のユーザーを開拓した。

解決すべき課題

利用分野・機関の拡大に余地

利用の敷居が高いという誤解の払拭

試料作製・データ解析などコンサルティング機能拡充

最適なソリューションの提案

#### ・新技術習得プログラム・技術講習会、広報活動

人材育成、最新の開発技術を周知しすぐに装置共用に供した。

コロナ禍によるオンライン開催の困難

#### ・参画機関連携による複合解析ソリューション

複合解析ソリューションを開発に取り組んだ。

機関間のコミュニケーション促進、効率化が必要

20 機関が参画

戦略(a)コンサル  
戦略(b)遠隔

戦略(b)遠隔

戦略(c)複合解析  
ソリューション

### ③ 目標達成に向けた戦略(工程表含む)

